

(参考) 令和3年度避難行動要支援者名簿アンケート 集計結果

回答：658組織

Q1 コロナ禍の長期化で、活動の自粛は続いていますか。

- 1 はい(訓練中止・活動規模縮小など) 558組織
- 2 いいえ(コロナ禍前と同様に活動) 77組織

Q2 活動時に工夫されている事、苦慮されている事を教えてください。

- ・活動自粛が続き、防災に対する意識の低下を懸念している
- ・各家に対して電話や文書などで確認。少人数での訪問・資機材の点検を実施
- ・会議などは書面もしくはリモートなどで実施 など

Q3 市が配付した「避難行動要支援者名簿」をどの程度活用していますか(複数回答)。

- 1 防災訓練時のみ使用 243組織
- 2 日頃の自主防災組織の活動時にも使用 65組織
- 3 コロナ禍で自主防災組織の活動自体が自粛傾向 280組織
- 4 その他 78組織
(・地図を作成し、記入して共有 ・防犯パトロール時に使用
・地区計画を策定する際に使用 ・コロナ禍により使用できず など)

Q4 「個別避難支援プラン」の作成状況

- 1 作成済 45組織
- 2 作成予定 134組織
- 3 未作成 461組織

Q5 (Q4で作成済の組織) 作成済人数 34組織 1,144名中 822名分作成

Q6 (Q4で未作成の組織) 作成していない理由(複数回答)

- 1 支援者を決めておくことが困難 195組織
- 2 本人(避難行動要支援者)と話す機会がない 157組織
- 3 作成の仕方が分からない 55組織
- 4 組織の高齢化や少人数化で支援が困難 142組織
- 5 その他 46組織

(役員の交代や高齢化により余裕がない。プライバシーの保護を優先。
地図を作成して活用している。コロナ禍により規模縮小のため。 など)

Q7 主なご意見

- ・必要なことは理解できるが、高齢化やコロナ禍により活動に不安が残る
- ・個人情報に掲載されているため、情報共有をどこまで行うか判断が難しい
- ・民生委員など、支援者との共有が大事
- ・自治会未加入者やアパート居住者と面識がなく、対応が課題